

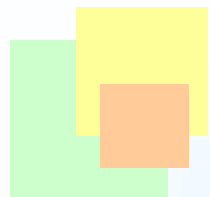
2007年5月期 決算説明資料



 **三菱子産業株式会社**

(証券コード:3321)

2007年7月9日



目次

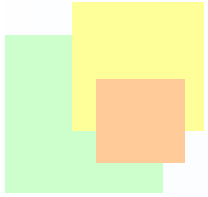
.ミタチ産業グループの概要

.2007年5月期 決算概要

.今後の見通し

将来の予想に関する注意事項

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



・ミタチ産業グループの概要

1. ミタチ産業株式会社 会社概要

Creative Innovation
for the Future

- 本社所在地 : 名古屋市中区
- 設立年月 : 1976年7月 (創業年月 : 1972年9月)
- 資本金 : 5億2160万円 (2007年5月末)
- 代表者 : 代表取締役社長 橘 至朗
- 従業員数 : 連結688名 (2007年5月末)
単独141名 (2007年5月末)
- 株式上場 : 2004年4月 東証・名証二部上場
: 2005年5月 東証・名証一部指定
- 事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造



2. グループの構成

ミタチ産業グループは国内2社、海外4社の計6社にて構成されています。



 **ミタチ産業**

	主な機能・役割
ミタチ産業	半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
大洋電機	電子部品の製造、電子機器のOEM生産
M.A.TECHNOLOGY	光半導体、カーエレクトロニクス用制御基板、OA関連受託生産
美達奇(香港)	海外進出日本企業および現地企業向け電子部品の販売
台湾美達旗股份	電子部品の国内向け調達
敏拓吉電子(上海)	電子機器・部品の国内向け調達

3. 社名とシンボルマークについて



お客様

当社
株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ(お客様、当社、仕入先様)という三位一体の精神に由来しています。

また当社のシンボルマークはミタチのイニシャル「M」と「ガールの水道橋」のアーチをモチーフに生まれました。

ミタチの精神的基盤となっている5つの「経営哲学」

顧客第一主義

人間尊重

一流へのチャレンジ

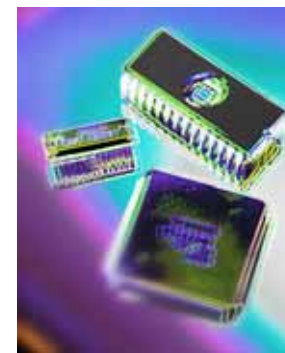
創造的革新

企業の社会的貢献

5. 主な取扱商品



半 導 体



そ の 他

液 晶



ユ ニ ッ ト
ア セ ン ブ リ

電 子 部 品



6. ミタチ産業グループの強み

Creative Innovation
for the Future

当社グループの強みは「**お客様が困っていることを解決しよう!**」
という熱き思いが、その原点です。

ミタチの強み その

当社は特定のメーカーに属さない独立系商社のため、豊富な仕入先と品揃えを有し、“ワンストップ”でお客様にあらゆる商材を提案することが可能となっています。

ミタチの強み その

当社は様々な顧客ニーズに対応すべくメーカー機能の充実を図っております。また自ら市場を開拓すべく、自社ブランド製品の開発を推進しています。



ミタチの強み その

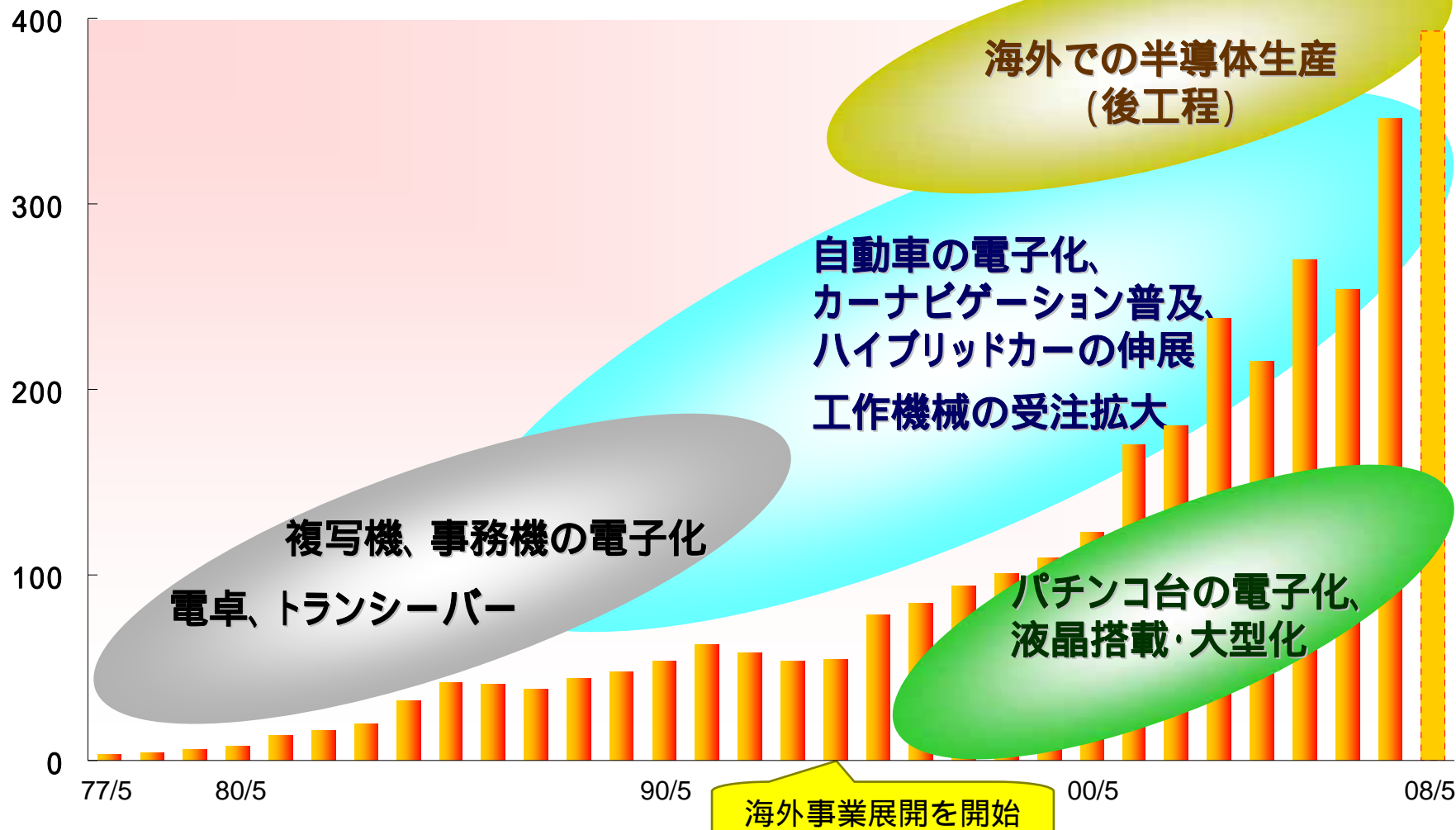
当社は自動車、アミューズメント機器、工作機械それぞれの電子化と共に歩み、発展してまいりました。また同分野に精通した専門の営業部隊を有しています。

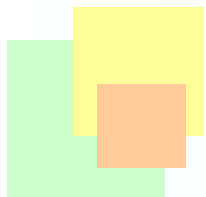


7. 事業の変遷および業績推移

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





.2007年5月期 決算概要

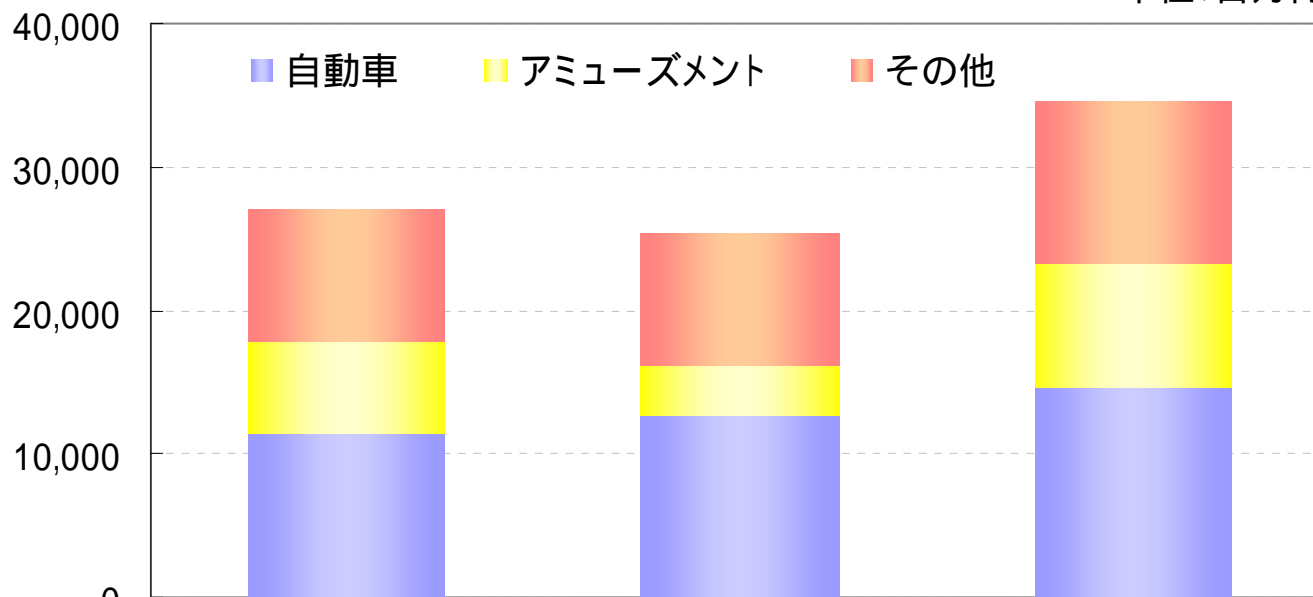
1. 2007年5月期 連結決算実績

単位：百万円

	2005年5月期		2006年5月期		2007年5月期		
		百分比		百分比		百分比	前期比
売上高	27,008	100.0%	25,380	100.0%	34,601	100.0%	+ 36.3%
売上総利益	2,606	9.6%	2,566	10.1%	3,234	9.3%	+ 26.0%
販売費及び 一般管理費	1,762	6.5%	1,851	7.3%	2,257	6.5%	+ 21.9%
営業利益	843	3.1%	714	2.8%	976	2.8%	+ 36.7%
経常利益	946	3.5%	803	3.2%	1,104	3.2%	+ 37.5%
当期純利益	549	2.0%	473	1.9%	620	1.8%	+ 30.8%

2. 業種別 連結売上高

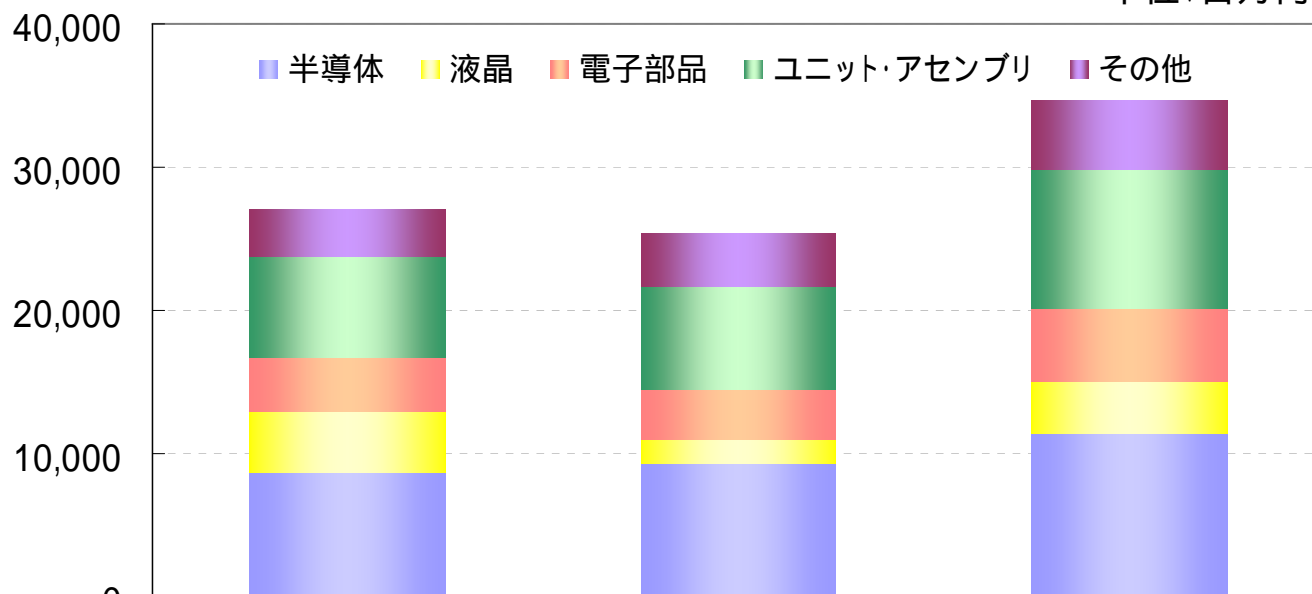
単位:百万円



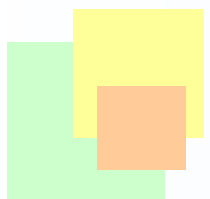
	2005年5月期		2006年5月期		2007年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	前期比
自動車	11,471	42.5%	12,628	49.7%	14,663	+ 16.1%
アミューズメント	6,430	23.8%	3,494	13.8%	8,563	+ 145.0%
その他	9,106	33.7%	9,257	36.5%	11,375	+ 22.9%
合計	27,008	100.0%	25,380	100.0%	34,601	+ 36.3%

3. 商品別 連結売上高

単位：百万円



	2005年5月期		2006年5月期		2007年5月期		
		構成比		構成比		構成比	前期比
半 導 体	8,746	32.4%	9,309	36.7%	11,397	33.0%	+ 22.4%
液 晶	4,280	15.8%	1,683	6.6%	3,701	10.7%	+ 119.8%
電 子 部 品	3,716	13.8%	3,538	13.9%	5,058	14.6%	+ 42.9%
ユニット・アセンブリ	6,996	25.9%	7,096	28.0%	9,765	28.2%	+ 37.6%
そ の 他	3,267	12.1%	3,751	14.8%	4,679	13.5%	+ 24.7%
合 計	27,008	100.0%	25,380	100.0%	34,601	100.0%	+ 36.3%



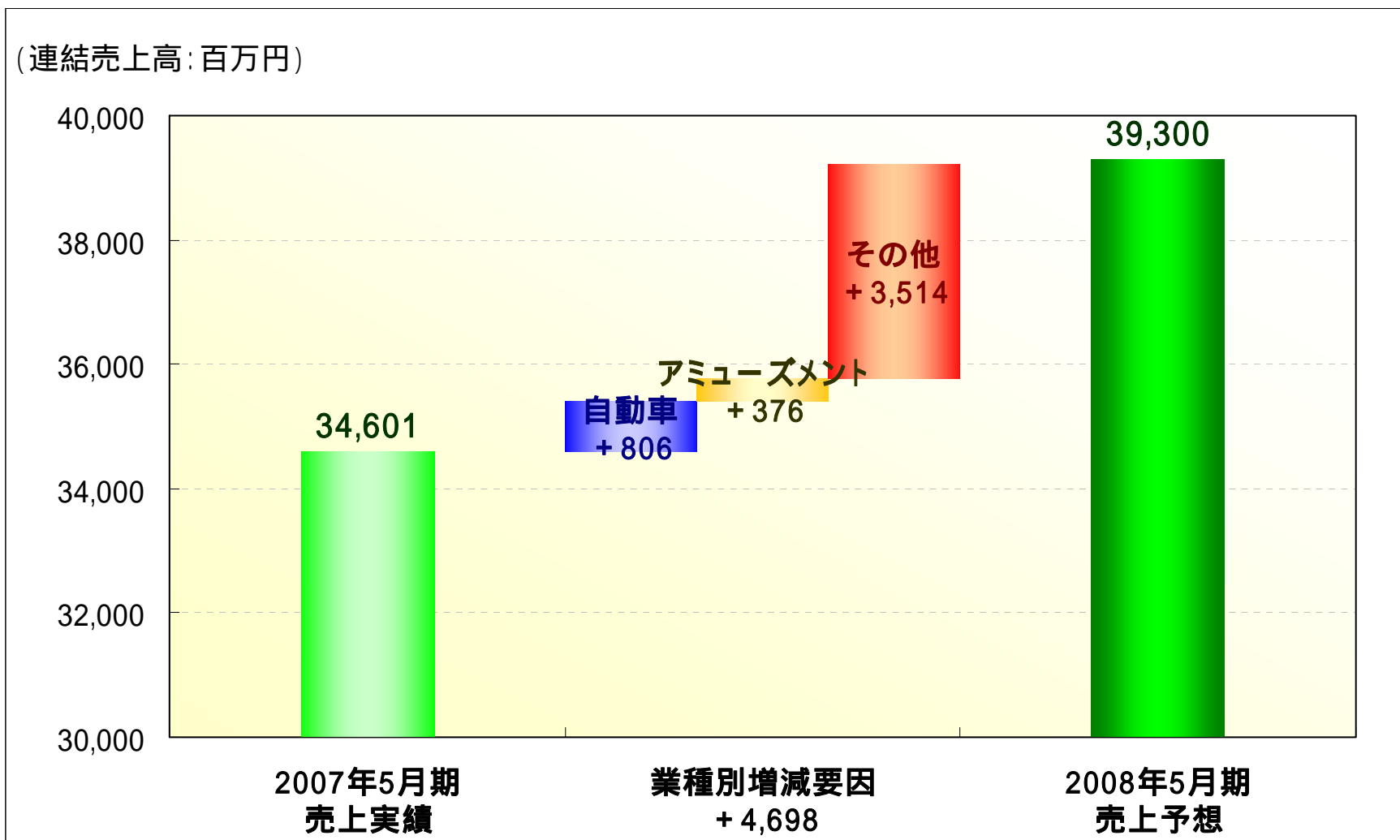
.今後の見通し

1. 2008年5月期 連結業績見通し


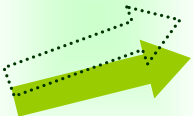

単位：百万円

	2008年5月期			
	業績予想	百分比	増減	前期比
売上高	39,300	100.0%	+4,698	+13.6%
売上総利益	3,420	8.7%	+185	+5.7%
販売費及び一般管理費	2,410	6.1%	+152	+6.7%
営業利益	1,010	2.6%	+33	+3.4%
経常利益	1,040	2.6%	64	5.9%
当期純利益	600	1.5%	20	3.2%


2. 業種別 連結売上高 増減要因



3. アプリケーション別 今後の見通し

区分	今後の見通し	
自動車		<p>今期は主としてカーナビ用ハードディスクの売上増大を見込む。来期以降はカーナビ用ハードディスクのほか、ハイブリッドカー用駆動・発電モーター、ウォーターポンプ用セミカスタムICなどの、さらなる受注拡大を見込む。</p>
アミューズメント		<p>今期は業界環境は厳しいものの、液晶受注の増加などを見込み、売上増となる見通し。 中長期的にも業界環境は厳しいとみられるが、遊技機メーカーは他社との差別化に注力し、むしろ1台当りの電子部品需要は拡大中。当社にとっては電飾モジュール、大型液晶、メモリモジュール、機構部品（コネクタ、スイッチ）、バックライトのリユース需要など、新商材（ビジネス）拡販の好機。</p>
ソリューション		<p>光半導体の受託加工が今期大幅増となる見通し。液晶バックライト向けのほか、光源市場（特に照明用途）の大きな変革により、中長期的にも大幅な受注増を期待。</p> <p>工作機械関連の受託加工は今期横ばい見通し。</p> <p>自社製品 多機能情報モニタ「MIU FACE」の拡販など新商材により、さらなる飛躍を見込む。</p>

 今期の見通し

 中長期の見通し

自社製品 多機能情報モニタ「MIU FACE」
の拡販



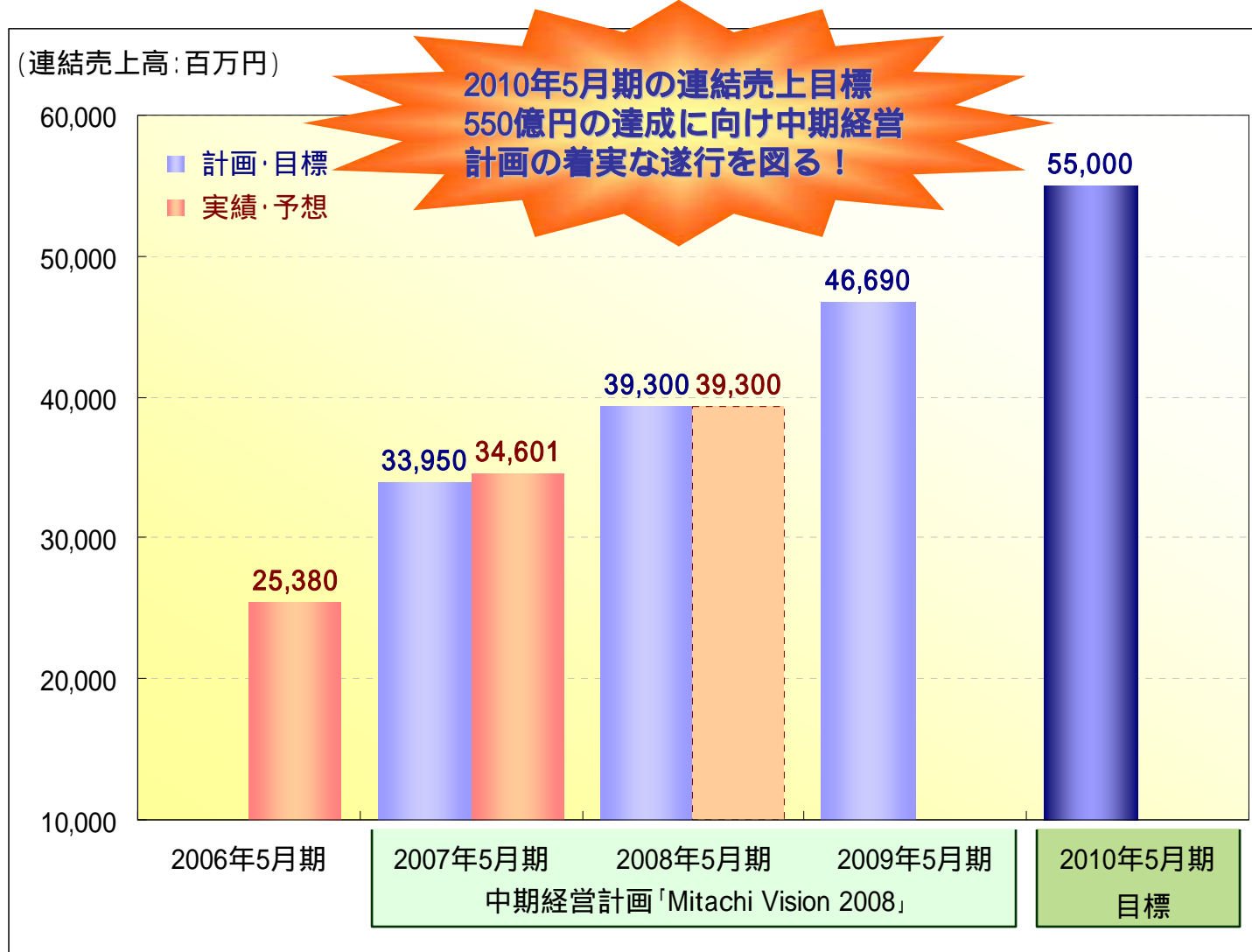
シリコンウェハーのリサイクルビジネス始動

中国メーカー製 セラミックガラスの販売

「大洋電機」が大手電子部品メーカーの受託生産開始

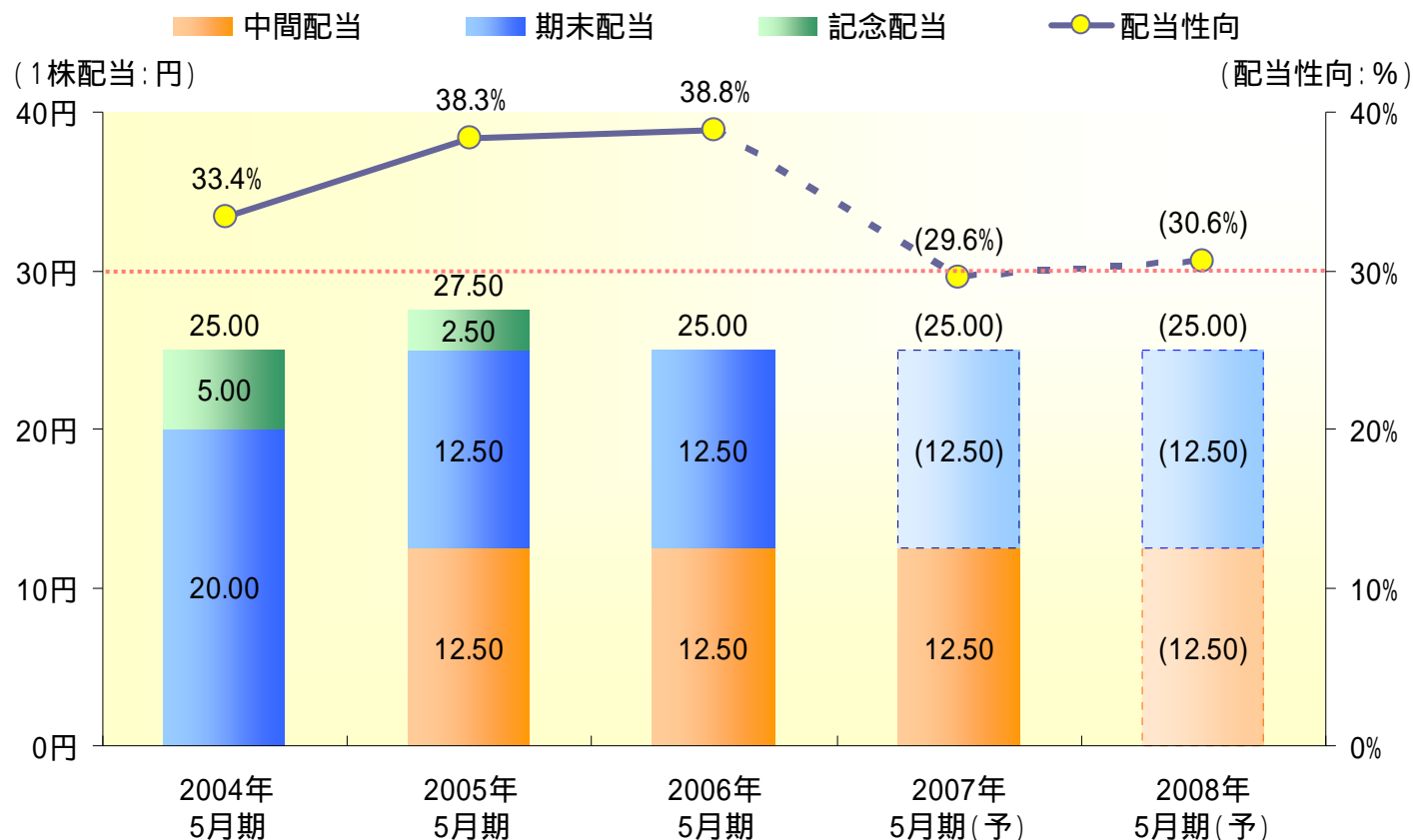
サーマルソリューション ビジネスの展開

5. 中期経営計画の実績および展望



6. 配当政策

当社では財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考えており、配当性向は30%程度を目安としております。



2004年5月期は、東証・名証各二部上場記念配当を行っております。

2005年5月期は、東証・名証各一部指定記念配当を行っております。

配当性向は、ミタチ産業株の1株当たり配当金を、1株当たり当期純利益（連結ベース）で除して算出しております。



 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ先：経営企画グループ TEL：052-332-2512
URL：www.mitachi.co.jp/ir